

1 単元名 日本の工業生産の今と未来

2 指導観

- 本単元の指導内容は、学習指導要領第5学年の内容(3)の「我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていること」を捉えさせることである。「工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていること」や「貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていること」と関連させながら、我が国全体の工業生産の特色や現状をとらえるとともに、これからの工業生産のあり方についても考えさせることが主なねらいである。我が国は、世界有数の工業国であり、輸入した原料から機械類を生産し輸出する加工貿易が日本経済の特徴の一つである。また、高い技術力によって生産された工業製品は、国内だけでなく国外においてもその品質が高く評価されている。しかし、近年、新興国の工業の発展、環境への意識の高まり、消費者の多様なニーズ等から、我が国の工業は海外に拠点を移したり、付加価値のより高い製品や環境に配慮した製品を生み出したりして生産の転換を行っている。このような我が国の工業生産の変化を捉え、今後の日本の工業のあり方について学習することは、我が国の工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考える上で重要であると考えられる。
- 本学級の児童は、社会科の学習に意欲的に取り組む児童が多い。これまでの農業や水産業の学習においては、教科書やインターネットから資料を収集して調べ、理解を深めることができている。しかし、資料から得た事実と事実を関係づけたり、社会的事象を多面的・多角的に考察し表現したりする力が不十分である。前単元「未来を支える食料生産」では、農業や水産業の盛んな地域やその理由を自然条件や地形などと関連させて考えることができた。また、それらが消費者の所に届くまでの生産者の工夫や努力について資料をもとに調べ学んできている。また、小単元「これからの食料生産」では、日本の食料自給率の低さに着目させ、その具体や原因などについて具体的資料をもとに調べることができた。その際も、複数の資料をもとに考える子は学級の半数以下で多面的に考察する力は十分といえない。これらのことから、今回の単元において、社会的事象に対して、複数の資料をもとに考えを深めたり、多面的・多角的に考察し、判断する能力と態度を養ったりする力をつけていくことは価値が高いと考える。
- 本単元では、身の回りの工業製品や工業が盛んな地域の分布や生産の割合、大工場と中小工場の特色や中小工場の優れた技術や発想力、海外生産の影響について調べる活動を通して、日本の工業の概要や現状をとらえ、工業製品が国民生活に重要な役割を果たしていることを理解し、今後の日本の工業のあり方について多面的・多角的に考えることができるようにしていく。指導にあたっては、まず、身の回りの工業製品を調べ、種類ごとに分けたり白地図に整理したりして、気づいたことや疑問に思ったことなどをもとに、学習問題「日本の工業生産には、どのような特色があるのだろう。」を設定する。この学習問題を解決していくために、工業の盛んな地域が生産や輸送に適した条件にあること、中小工場が高い技術を生かして製品をつくり大工場の生産を支えるとともに国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを教科書や資料をもとに調べ、話し合い、捉えさせていく。次に、国内の工場数や主な電化製品の国内生産台数が減少していることや外国における日本の会社や海外生

産が増えてきていることに気づかせ、今後の日本の工業のあり方について考えさせていく。その後、今後の日本の工業のあり方について、海外生産の良さと問題点分かる具体的な資料をもとに調べ話し合うことで、多面的・多角的に考察し、今後の日本が工業生産をどのように進めていくべきかを公正に判断させていく。最後に、これまでの学習で調べ考えてきたことに加え、日本の工業生産の発展についての自分の考えを授業支援アプリにまとめさせる。自分で学んだことや考えをまとめ、共有していく活動を通して、工業生産の特色や現状を捉えなおすとともに、これからの工業生産の発展に対しての考えを深めさせていく。

3 単元目標

- 我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていることなどについて資料を適切に用いて調べ、まとめ、日本の工業の特色や工業生産が国民生活に重要な役割を果たしていることを理解することができる。 **【知識及び技能】**
- 工業の種類、工業の盛んな地域の分布、これからの工業のあり方などに着目して、工業生産の概要をとらえ、工業生産が国民生活に果たす役割や今後の日本の工業のあり方について多面的に考えたり、表現したりすることができる。 **【思考力、判断力、表現力等】**
- 我が国の工業生産に関心をもち、その特色や現状について意欲的に調べたり、今後の我が国の工業生産のあり方について考えていこうとする態度を高めたりすることができる。 **【学びに向かう力、人間性等】**

4 単元計画

次	時	学習内容
1	1	・身の回りの工業製品について知る。 ・工業製品の仲間分けを基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。
2	2	・工業の盛んな地域の条件について考える。
	3	・中小工場と大工場の特色について考え、日本の工業生産の特色についてまとめる。
	4	・日本の工業生産の変化を捉え、現状と課題について考える。【本時】
	5	・海外生産が増えている理由について考える。
	6	・中小工場の取組から、日本の工業生産の発展につながる人々の工夫や努力を捉える。
	7	・日本で新たに開発や生産が進められている工業製品から、国内の工業生産の発展が人々の生活を支えていることを捉える。
3	8	・これからの工業生産の発展に大切なことをまとめる。

5 本時

(1) 主眼

日本の工業生産の近年の変化について複数の資料を関連付けて読み取り、これまでに調べた日本の工業の特色と併せて考え、整理する活動を通して、日本の今後の工業生産について、資料を基にした自分なりの考えを表現することができる。

(2) 本時で育成したい情報活用能力

必要な情報を収集、整理、分析、表現する力（系統表 B-1①）

(3) 準備

・GIGA タブレット端末 ・授業支援アプリ ・電子黒板

(4) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点
<p>1 2つの資料を見て、本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>日本の工業生産は、今後どのように変わっていくのか、予想して説明しよう。</p> </div>	<p>○ 日本の「今後の工業生産」について考えるという意識を高めるために、工業が発展した想定で作られた動画（Society5.0）と工場が閉鎖されたニュース（日本製鉄呉製鉄所）を提示する。</p>
<p>2 資料を読み取り、日本の工業生産の近年の変化や課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料アを見ると、国内の生産台数が減ってきている。 ・資料イを見ると、工場の数も従業員も減ってきている。 ・資料ウを見ると、日本の会社の外国の工場が増えてきている。 ・これらの資料をつなげて考えると、生産が海外に移ったことで、国内の生産台数や工場数、従業員数が減っていることが分かる。 ・国内の生産が減ることで、輸出入のバランスや国内の技術力の継承などに問題が起こってしまう。 	<p>○ 近年の日本の工業生産がどのように変化してきているかをつかませるために、以下の資料を提示する。（オは前時までに読み取った資料）</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>7 主な電化製品の国内生産台数の変化</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>8 国内の工場数と、工場働く人の数の変化</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>9 外国にある日本の会社の数の変化</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>10 国内の工業生産額の変化</p> </div> </div>
<p>3 今後の日本の工業生産がどのように変化するか、既習事項である国内の工業の特色と併せて自分なりの考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本には働く人が少ない中小工場が多いから、海外に工場が移り続けると、働く人がいなくなって工場はもっと減っていくと思う。 ・日本は加工貿易が中心だったけど、加工された製品の輸入も増えてきているから、国内の生産も減 	<p>○ 考えるきっかけとするために「日本国内の工業は発展する⇔衰退する」など、子どもの言葉で選択肢をつくり、選ばせた上で考えるようにする。なお、多様な考えを持たせるために、二者択一とするのではなく、どちらの選択肢により近いかを授業支援アプリを使って表現させ</p>

っていくと思う。

- ・国内の工業生産額は少しずつではあるが増え続けているのだから、今後も発展していくと思う。
- ・日本の中小工場には高い技術があるから、量より質を求めた結果、工場数は減っていても、なくてはならない工業に発展していくと思う。

4 考えたことを交流し、自分の考えを再構成する。

- ・日本には原料となる資源が少なく輸入に頼っているから、これからは海外での生産が増え続け、国内の工業は衰退すると思う。
- ・これまでの学習で読み取った資料では、輸入額とともに輸出額も増えていたのだから、やはり国内の工業は発展していくと思う。
- ・外国との関係にも影響されそうだから、国内の工業生産についての資料だけで判断するのは難しい。
- ・日本の工業は衰退していくだろうけど、これまで学習してきた農業や漁業でもあったように、消費者が進んで国内で作られたものを買うことで、少しは変わっていくと思う。

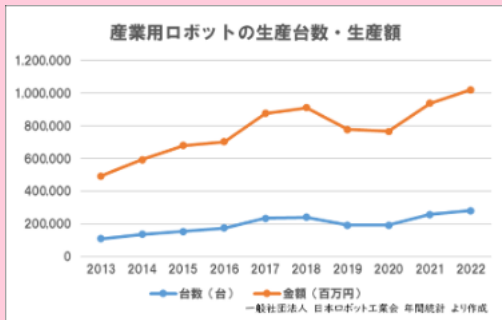
5 学習をふり返り、本時の学習をまとめる。

る。

- 上記オのようなこれまでの資料や既習事項を基に考えることができるように、授業支援アプリの学びの足跡から自分の考えをつくらせる。
- 資料（事実）を根拠とした考えになるように、「どの資料から、どのようなことを考えたから発展（衰退）すると思う。」の型で表現させるようにする。
- 自分の考えを付加・修正・強化させるために、自分と似た選択肢を選んだ人や、同じ資料を使って説明している人、全く違う意見を考えている人のところに行き、交流させるようにする。その際、誰がどのような選択をしたか分かるように、授業支援アプリで一覧共有表示しておく。
- 多様な考えに触れさせるため、それぞれの立場から数名に発表させる。その際、次時以降への学習につなげるため、外国との関係に触れた考えや、自分と工業（工業製品）との関わり方に触れた考えがあれば、意図的に取り上げるようにする。
- ※ 日本の今後の工業生産について、資料を基にした自分なりの考えを表現できている。（授業支援アプリ）
- 子どもの発言や授業支援アプリに書かれた内容から、次時につながる視点や考え方を整理する。また、複数の資料や既習事項を関係づけて考えることや、根拠となる事実や資料と自分の意見を結びつけながら考えることなど、情報の活用の仕方について価値づける。

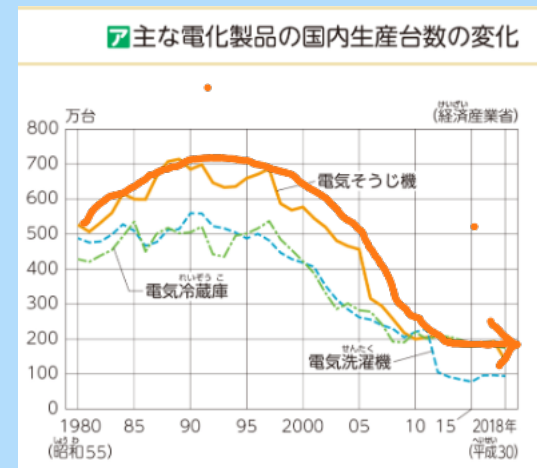
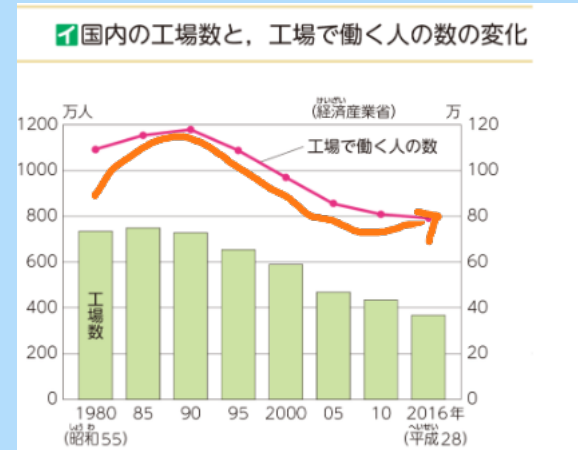
あなたの立場は？

発展



でもロボットが増えて...

どんどん減っていく



衰退